

0 調査の概要

調査の背景

- 検診機関の精度管理を行う上では、プロセス指標を個別に提示し、評価を見える化することが重要である。
- 検診機関のプロセス指標を集計・フィードバックしている区市町村は、全がん種で20~40%程度※であり、都全体で実施状況が悪い。
※令和6年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」

調査対象

令和4年度に100人以上の対象者にがん検診を実施した検診機関
※ 100人以上実施した検診機関がない場合、実績上位の3検診機関を対象とする

集計値

受診率/要精検率/精検受診率・精検未把握率・精検未受診率/がん発見率・陽性反応適中度 等

令和6年度(令和4年度分) 胃がん検診(胃部エックス線検査)

区市町村名: 対象人口率: 52%

検査方法: 胃腸エックス線検査

注意! このシートは胃部エックス線検査用です!
胃部エックス線検査を未実施の自治体の方は記入しないでください!

国及び東京都の指針に基づき胃がん検診(50歳以上胃部エックス線)を、令和4年度中に100人以上へ実施した検診機関を対象とします。
なお、令和4年度中に100人以上検診を実施した医療機関が3医療機関未満の場合は、検診実績数上位3医療機関を対象とさせていただきます。
数値の計上方法については、国から各区市町村に送付されている「地域保健・健康増進事業報告作成要綱(令和5年度分)」を御参照ください。

R4年度集団検診

一次検診機関名	50歳以上の住基台帳人口	対象人口率に基く対象者数	令和4年度受診者数	令和3年度受診者数	2年連続受診者数	要精検者数	がんであった者の数	そのうち早期がんであった者の数	精検未受診者数	精検結果未把握者数
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

受診者数や要精検者数等を入力すると、右表にプロセス指標が計算される

R4年度個別検診

一次検診機関名	50歳以上の住基台帳人口	対象人口率に基く対象者数	令和4年度受診者数	令和3年度受診者数	2年連続受診者数	要精検者数	がんであった者の数	そのうち早期がんであった者の数	精検未受診者数	精検結果未把握者数
1										
2										
3										

集団検診

受診率	要精検率	精検受診率	がん発見率	陽性反応適中度	精検未受診率	精検未把握率	早期がん割合
1	7.6%以下	30%以上	0.11%以上	1.5%以上			
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

個別検診

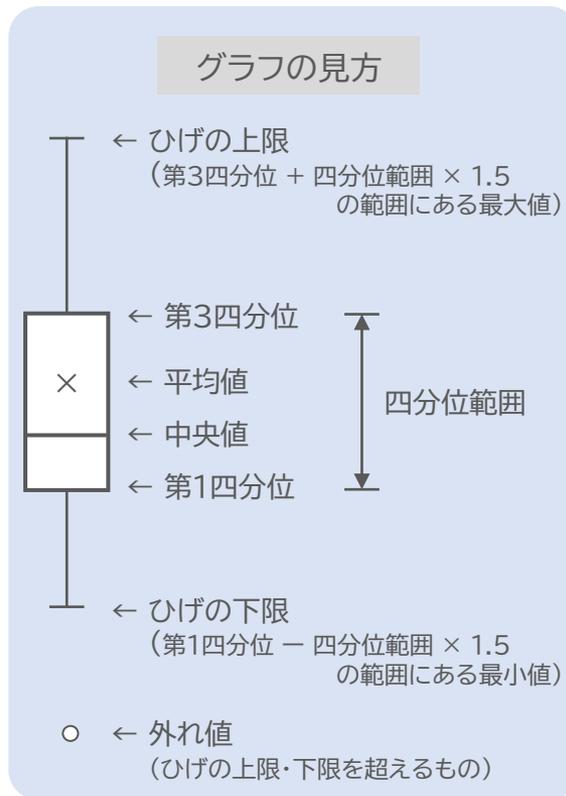
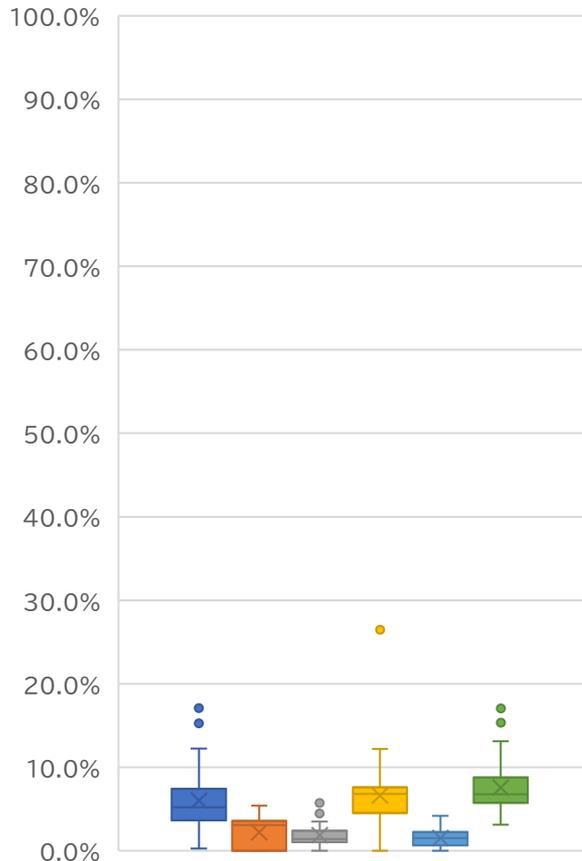
受診率	要精検率	精検受診率	がん発見率	陽性反応適中度	精検未受診率	精検未把握率	早期がん割合
1							
2							
3							

「注意事項」
別紙「検診機関別プロセス指標の調査」への回答に係る注意事項についてを必ず御一読の上、御記入ください。

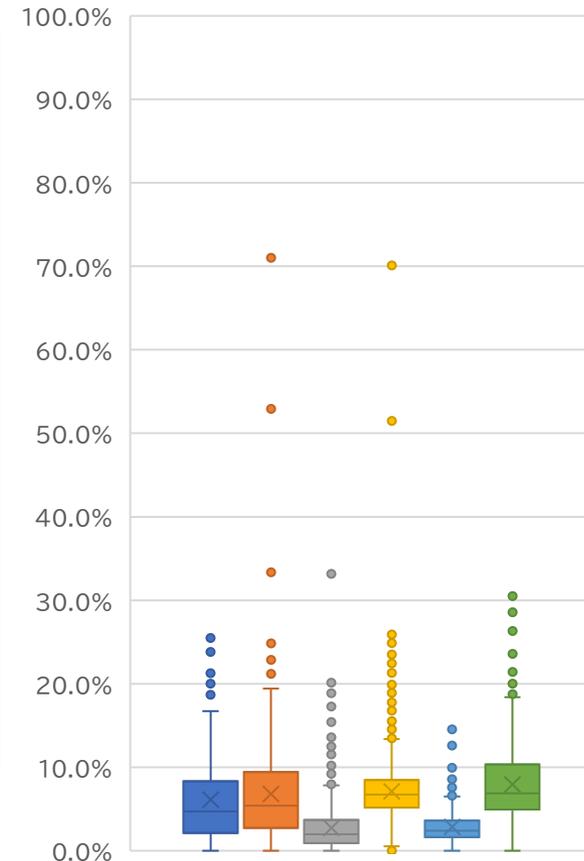
下記は自動入力欄です。

1 要精検率の分布

集団検診

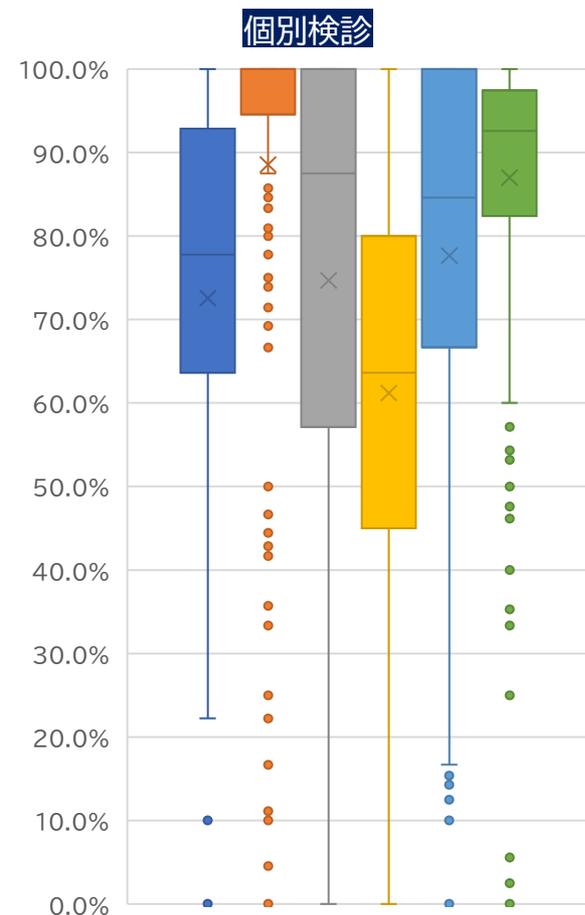
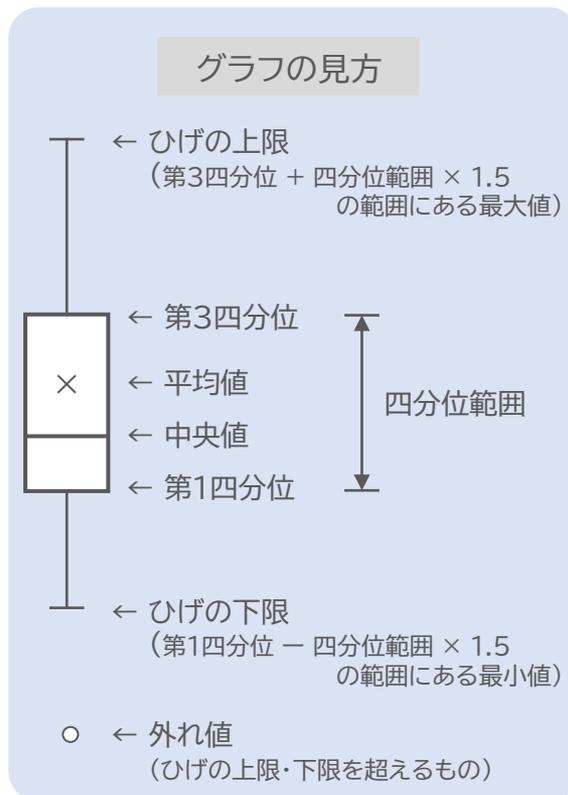
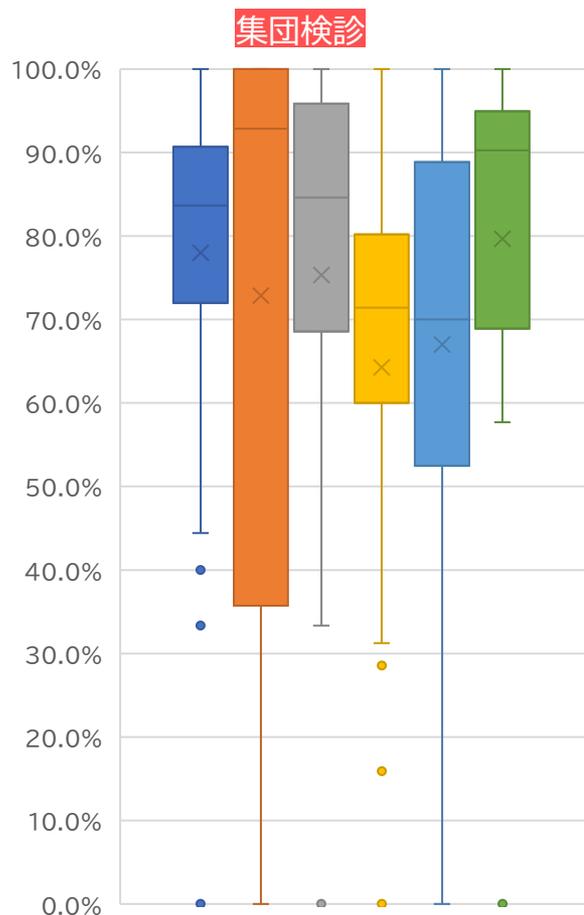


個別検診



胃 (エックス線)	胃 (内視鏡)	肺	大腸	子宮頸	乳	標本数	胃 (エックス線)	胃 (内視鏡)	肺	大腸	子宮頸	乳
43	7	43	38	20	40	標本数	122	374	1064	2528	582	331
6.0%	2.2%	1.9%	6.6%	1.5%	7.5%	平均値	6.1%	6.8%	2.7%	7.1%	2.8%	8.0%

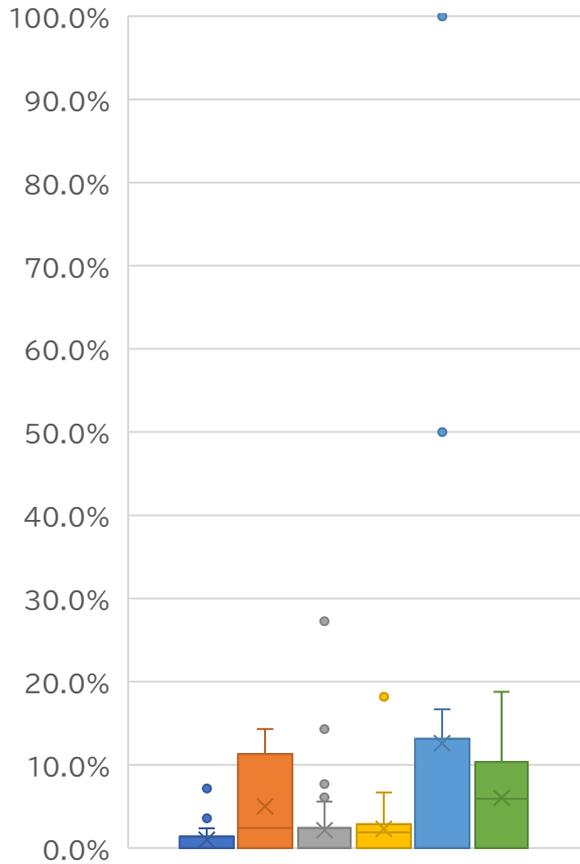
2 精検受診率の分布



胃 (エックス線)	胃 (内視鏡)	肺	大腸	子宮頸	乳	標本数	胃 (エックス線)	胃 (内視鏡)	肺	大腸	子宮頸	乳
43	4	40	37	16	40	標本数	111	357	967	2525	571	328
78.0%	72.9%	75.3%	64.3%	67.0%	79.7%	平均値	72.5%	88.6%	74.7%	61.2%	77.7%	87.0%

3 陽性反応適中度の分布

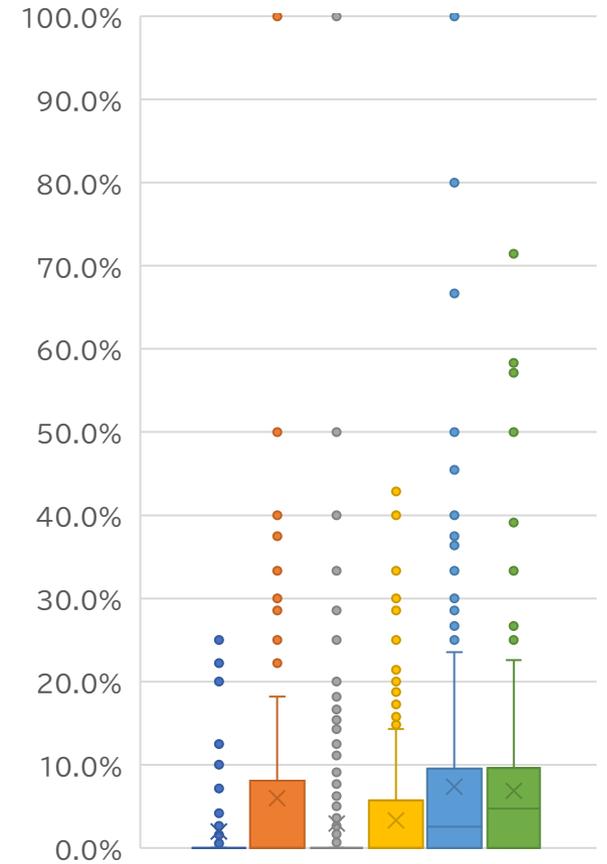
集団検診



グラフの見方

- ← ひげの上限
(第3四分位 + 四分位範囲 × 1.5
の範囲にある最大値)
 - ← 第3四分位
 - ← 平均値 (x)
 - ← 中央値
 - ← 第1四分位
 - ← ひげの下限
(第1四分位 - 四分位範囲 × 1.5
の範囲にある最小値)
 - ← 外れ値 (ひげの上限・下限を超えるもの)
- 四分位範囲

個別検診



胃 (エックス線)	胃 (内視鏡)	肺	大腸	子宮頸	乳	標本数	胃 (エックス線)	胃 (内視鏡)	肺	大腸	子宮頸	乳
43	4	40	37	16	40	標本数	111	357	967	2525	571	328
1.0%	5.0%	2.1%	2.3%	12.6%	6.0%	平均値	2.0%	6.0%	2.9%	3.3%	7.4%	6.9%

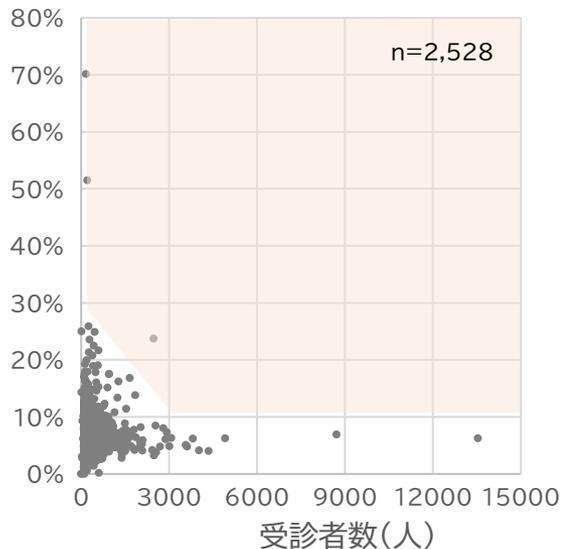
4 受診者数・要精検者数に対するプロセス指標の分布

- ・ 横軸に受診者数・要精検者数、縦軸にプロセス指標となる散布図
- ・ 集団全体からの離散度合いにより、検診機関ごとの立ち位置を評価することが可能

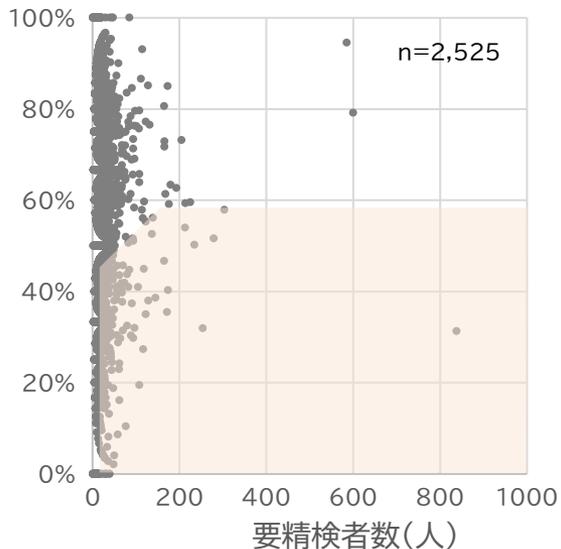
例) 大腸がん(個別検診)

▶ その他がん種の散布図は、資料11-1を参照

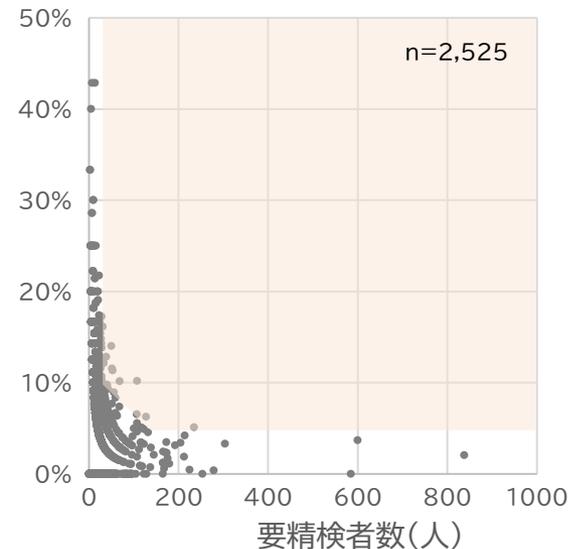
要精検率



精検受診率



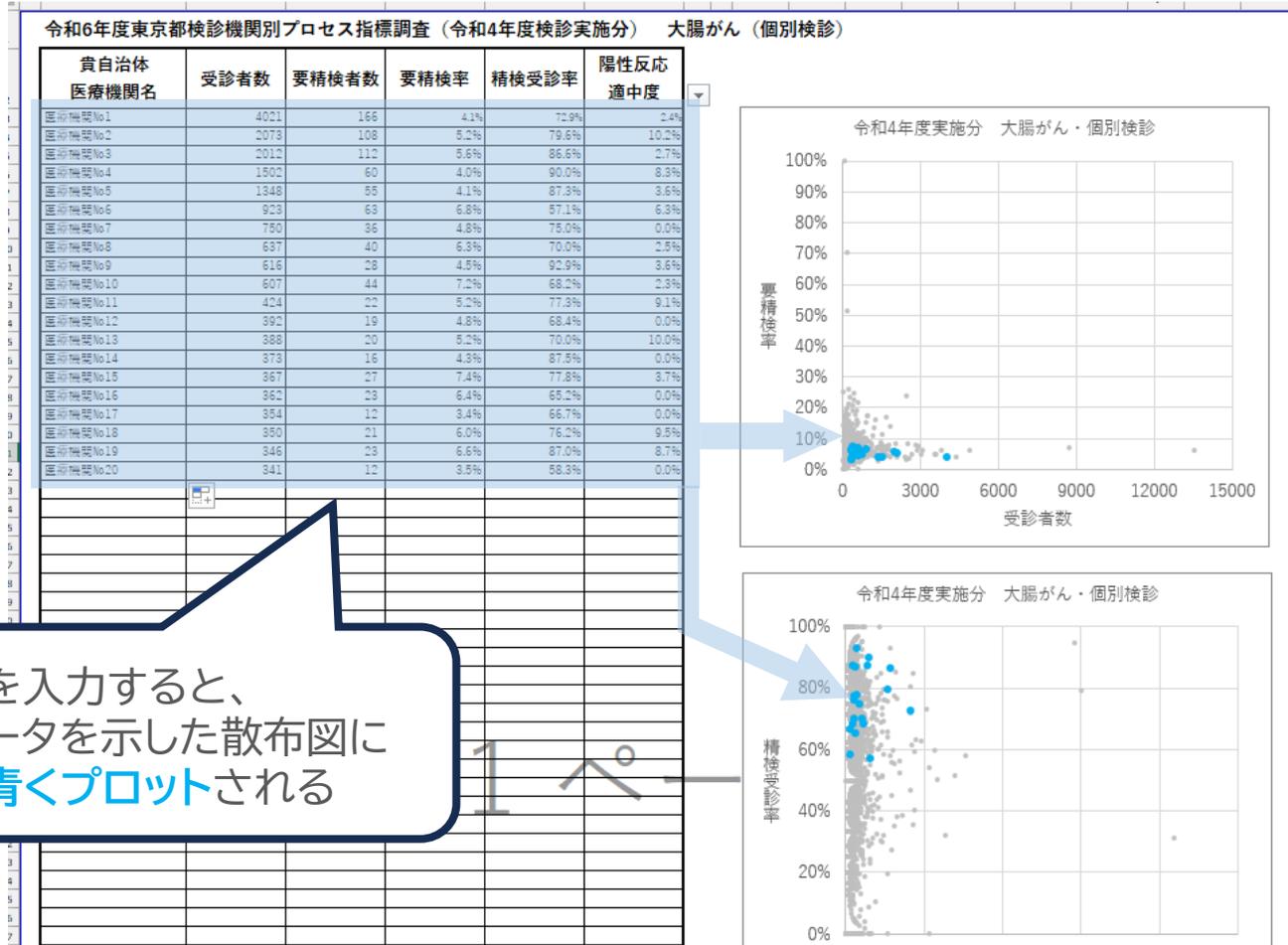
陽性反応適中度



… 各プロセス指標の分母となる受診者数・要精検者数の規模を考慮した際、
真の「外れ値」と推定される範囲

5 区市町村へのフィードバックツールの提供

- 区市町村が実施する、検診機関に対するプロセス指標のフィードバックを支援する
- 散布図を作成し全体と比較することで、各検診機関ごとの精度管理評価が可能



▶ 令和7年3月に各区市町村へ配布予定